２０２２年度　入社式　社長訓示

【東北電力ＮＷ　坂本社長】

１．はじめに

２．東北電力ネットワークの使命

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

１．はじめに

新入社員の皆さん，あらためまして東北電力株式会社，東北電力ネットワーク株式会社への入社おめでとうございます。心より歓迎いたします。

本日，私からは，東北電力ネットワークの役割と使命，皆さんに伝えたいことについてお話しいたします。

２．東北電力ネットワークの使命

東北電力ネットワークは，電力システム改革における送配電部門の法的分離に伴い，一昨年 4 月に発足し，今年度で 3 年目を迎えました。

電気を作る「発電」と，お客さまに電気の販売・サービスを提供する「販売」とを繋ぐ，重要な機能・役割を担っているのが，私たちの事業である電力ネットワークです。

分社はしましたが，電力の安定供給のために，自然災害や事故時には，東北電力と東北電力ネットワーク

が一体となって早期復旧に全力を尽くすという使命は共通であり，東北電力創立以来，時代や環境が変化しても揺らぐことなく引き継がれてきた，私たちのＤＮＡとなっています。

この「電力の安定供給」に向けた強い使命感を象徴するのが，１１年前の東日本大震災です。この災害では，太平洋側を中心に，東北・新潟エリア管内の約７割が停電しました。また，津波により電力供給設備も甚大な被害を受け，東北電力にとって，創業以来の最大の危機とも言える状況でした。

そうした中，皆さんの先輩方は，「一刻も早く停電を解消する」，「計画停電は何としても回避する」という思いから，驚異的なスピードで停電の解消や電力設備の復旧を成し遂げました。お客さまからは，「がれきだらけの街の中に，次々と電柱が建っていく様子に感動した。」という言葉もいただきました。

その後も，激甚化・広域化する自然災害により，幾度も被害を受けてきましたが，その都度，両社は，強い使命感を持って対処してきました。

直近では，3 月 16 日に発生した福島県沖を震源とする震度 6 強の地震，そして，その後の電力の需給ひっ迫と立て続けに厳しい状況に見舞われましたが，長年にわたり積み重ねてきた災害や危機管理への備えを活かし，迅速な対応で早期復旧につなげ，東北・新潟エリアに根づいたインフラを担う企業としての責任を果たすことができました。

社会を支えるインフラ事業には，電力をはじめ，通信，運輸，金融，医療などがありますが，その中でも，電力ネットワークは，それらのインフラを支える「インフラの中のインフラ」ともいうべき，重要な事業であり，最後の砦でもあります。

当社は，平常時から，設備の建設，点検・保守，お客さま対応や地域対応などに，誠意を持って的確に対

応するとともに，自然災害や事故時には，全力，総力をあげて，停電復旧，事故復旧に努め，「最後の砦は絶対に守る」という，公益事業者としての強い使命感に溢れた組織です。

今日からは，新入社員の皆さんと共に，「電力の安定供給という使命を果たす」という旗印のもとで，一緒に仕事ができることを大変嬉しく，そして誇らしく思います。

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

さて，今皆さんは，緊張感を持ちつつも，「前途洋々」これからの自分の可能性に全力で立ち向かうという，やる気に満ち溢れていると思います。

その今の気持ち，初心を忘れずに，各職場で，１日も早く，先輩方の姿勢を学びながら，知識，経験，技術，技能を蓄積し磨いて，ＤＮＡを継承していただきたいと思います。

私は，４０数年前に東北電力に入社し，色々な仕事・職場を経験してきましたが，今振り返ってみますと，その過程で大事にしてきたことがあるように思います。

それは，「考え抜く」「よく聴く」「やりきる」ということです。

「問題意識をもって自分で考え抜く」，「独善とならないよう人の話をよく聞く」，「自分としての最善を尽くしてやりきる」，「考え抜く」「よく聴く」「やりきる」この３つのキーワードを，先輩として私から皆さんに贈りたいと思います。

そして何よりも，皆さんにお願いしたいことは，人間性を磨いていただきたいということです。

私の考える人間性とは，「自分以外の人に共感する心，世のため，人のために尽くす心」だと思っています。

人間性を磨くためには，模範となる人の話を聞いたり，本を読んだり，自ら行動し試行錯誤するなど，色々

な方法があると思いますが，必ずや皆さん自身の成長や，やりがい，生きがいに繋がってくるはずです。

「自分以外の人に共感する心，世のため，人のために尽くす心」，それは，とりもなおさず東北電力，東北電力ネットワーク両社の使命にしっかりと繋がっているのです。

皆さん，これから一緒に頑張りましょう。

以上